

SSI 工法準拠(改訂)

簡易防錆法

(Simplified Corrosion Preventive Method)

日常点検時の応急処置に最適な防錆処理！！

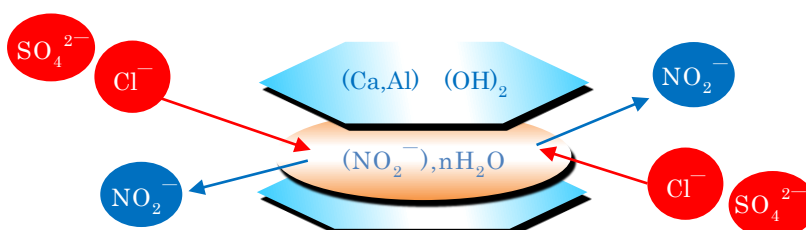
簡易防錆法は、「塩分吸着剤」を活用した SSI 工法の考え方をベースに、露出鉄筋に対して応急的な小断面欠損修復型の補修法です。

コンクリート構造物・建築物・電柱などの露出鉄筋を防錆化し、併せて遮塩性を付与した修復材により、手軽な防錆処理を可能にしました。



特長

- 本法は **防錆スプレー** と修復用の **手もみモルタル*** の施工を原則とします。
(*手もみモルタルを使用しない場合は、**保護スプレー** を施工します)
- 防錆スプレーに含まれる「塩分吸着剤」が鉄筋の腐食を抑制します。
- 手もみモルタルに含まれる「塩分吸着剤」が塩分などの浸入を抑制します。



塩分吸着メカニズム

基本物性

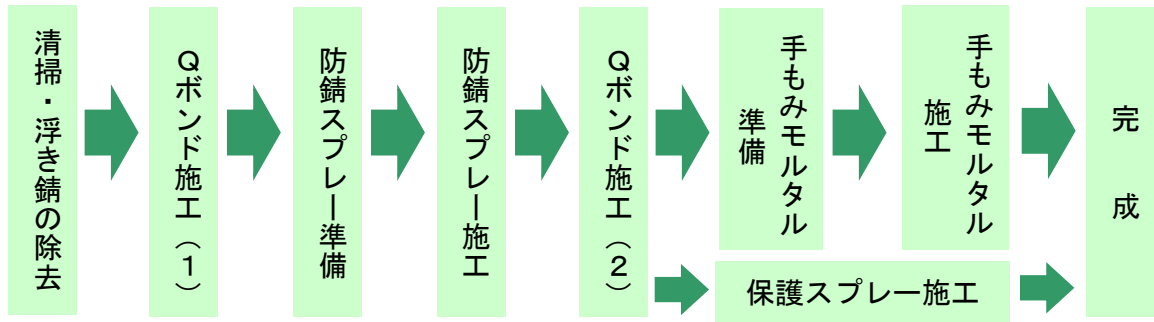
(数値：屋内での試験値)

	防錆スプレー	手もみモルタル
圧縮強度	—	25~30 N/mm ²
付着強度	1.5 N/mm ² 程度(鋼板下地)	1.5 N/mm ² 程度(建研式)
防錆性・遮塩性	SSI 工法用防錆ペーストと同等	SSI 工法用遮塩モルタルと同等
施工可能面積	約 0.5m ² /本(t=2~3mm)	約 0.03m ² /袋(t=10mm)

JRSE 株式会社 ジェイアール総研エンジニアリング

〒185-0034 東京都国分寺市光町 1-39-23
TEL : 042-501-2605 FAX : 042-501-2838

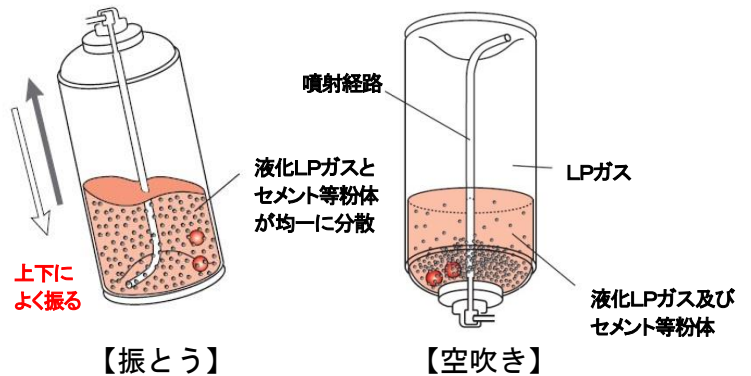
施工要領



■ 防錆スプレー準備・施工上の注意

★ 防錆スプレーの使用前後には、付着力確保と防錆材安定化のため、必ず「Qボンド」を施工してください。

- (1) 缶を上下によく振り、「カラカラ」と音がすることを確認する。
- (2) 更に上下に20回程度振とうして、スプレーを開始する。
- (3) 一時的に作業を中断した場合は、上記の操作を繰り返す。
- (4) 使用を一旦終了した場合は、逆さにして2秒程度空吹きし噴射経路を空にしておく。



■ 手もみモルタル準備・施工上の注意

- (1) 粉体を液体側へ押し出すように粉体側から力を加えて、中央の仕切りを破壊させる。
- (2) 粉体と液体を手でよく揉み、粘性が確認されたら粉体側端部の切込み（■印の箇所）を適度に切り開いてモルタルを押し出す。
- (3) 付着力を確保するため、施工面は必ず湿潤状態にしてモルタルを施工してください。

* 手もみモルタルで修復しない場合は、仕上げに**保護スプレー**を使用してください。

保護スプレーはアクリル樹脂塗料のため、防錆スプレーとQボンドを使用後、2～3時間以上を経て表面の乾燥を確認してから使用してください。

製品荷姿



防錆スプレー(260ml/缶)
& Qボンド(100ml/缶)



手もみモルタル(500g/袋)
(比重 約 1.55kg/L)



保護スプレー(300ml/缶)